

過去に開催した縄文文化大学講座

●令和4年度（2022年度）

演題：「縄文農耕論の再検討 九州縄文後晩期の事例から」

講師：第22回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 福永将大さん

開催日：令和4年(2022年)10月8日(土曜日)



●令和3年度（2021年度）

演題：「環状列石研究の現状と課題」

講師：第21回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 阿部昭典さん

開催日：令和3年(2021年)10月9日(土曜日)



●令和2年度（2020年度）

演題：「石皿・すり石はどう使ったかー縄文の食料加工研究最前線ー」

講師：第20回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 上條信彦さん

開催日：令和2年(2020年)11月22日(土曜日)



●令和元年度（2019年度）

演題：「縄文時代の食を探る」

講師：第19回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 西野雅人さん

開催日：令和元年(2019年)12月7日(土曜日)



●平成30年度（2018年度）

演題：「西日本の縄文文化」

講師：第18回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 矢野健一さん

開催日：平成30年(2018年)10月6日(土曜日)

西日本の縄文文化

2018年10月6日(土) 尖石縄文考古館
矢野健一



●平成29年度（2017年度）

演題：「星降る峠に黒曜石を求めて 縄文時代黒曜石鉱山の調査から」

講師：第17回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 大竹幸恵さん

開催日：平成29年(2017年)10月7日(土曜日)



●平成 28 年度 (2016 年度)

演題:「縄文社会を読み解く視点 土器文様・技術と胎土から」

講師:第 16 回宮坂英弐記念尖石縄文文化賞受賞者 水沢教子さん

開催日:平成 28 年(2016 年)11 月 3 日(木曜日)

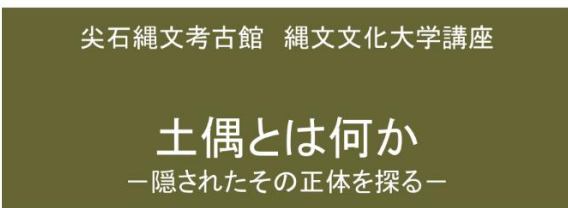


●平成 27 年度 (2015 年度)

演題:土偶とは何か 隠されたその正体を探る

講師:第 15 回宮坂英弐記念尖石縄文文化賞受賞者 瀬口眞司さん

開催日:平成 27 年(2015 年)10 月 10 日(土曜日)



●平成 26 年度 (2014 年度)

演題:縄文石器の研究方法

講師:第 14 回宮坂英弐記念尖石縄文文化賞受賞者 大工原 豊さん

開催日:平成 26 年(2014 年)10 月 11 日(土曜日)



●平成 25 年度 (2013 年度)

演題: 山形県最上川水系の縄文集落について

講師: 第 13 回宮坂英弐記念尖石縄文文化賞受賞者 小林圭一さん

開催日: 平成 25 年(2013 年)10 月 12 日(土曜日)



●平成 24 年度 (2012 年度)

演題: 土器文様から読み取る縄文社会

講師: 第 12 回宮坂英弐記念尖石縄文文化賞受賞者 今福利恵(りけい)さん

開催日: 平成 24 年(2012 年)10 月 6 日(土曜日)

2012 年 10 月 6 日

土器文様から読み取る縄文社会

平成 24 年度縄文文化大学講座

今福利恵 IATeX2_ε jsarticle



●平成 23 年度 (2011 年度)

演題: 先史時代の村をめぐる考古学 尖石遺跡からスカーラー・ブレイヤー遺跡へ

講師: 第 11 回宮坂英弐記念尖石縄文文化賞受賞者 サイモン・ケイナーさん

開催日: 平成 23 年(2011 年)10 月 8 日(土曜日)



先史時代の村をめぐる考古学
尖石遺跡からスカーラー・ブレイヤー遺跡へ

The archaeology of the prehistoric village

Simon Kaner

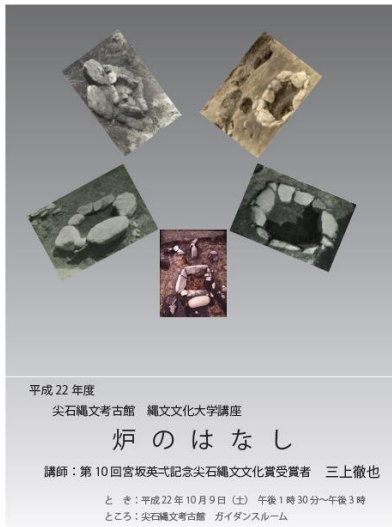


●平成 22 年度 (2010 年度)

演題: 炉のはなし

講師: 第 10 回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 三上徹也さん

開催日: 平成 22 年(2010 年)10 月 9 日(土曜日)



●平成 21 年度 (2009 年度)

演題: 縄文のおわりと弥生のはじまり

講師: 第 9 回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 山崎純男さん

開催日: 平成 21 年(2009 年)10 月 10 日(土曜日)

なお、平成 21 年度の縄文文化大学講座は、同年度の縄文ゼミナール第 5 回を兼ねて開催しました。

●平成 20 年度 (2008 年度)

演題: 縄文装身具の世界

講師: 第 8 回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 藤田富士夫さん

開催日: 平成 20 年(2008 年)10 月 11 日(土曜日)

茅野市 5000 年 尖石縄文まつり 縄文文化大学講座

縄文装身具の世界

講師 藤田 富士夫 氏
(富山市教育委員会理事・埋蔵文化財センター所長・
第 8 回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者)

(講演要旨)

『縄文人はオシャレの達人であった。今から約 7000 年前～5500 年前には「球状耳飾り」と呼ばれる装身具が大流行した。それは中国東北部に起源し、そこから広く東アジア世界へと伝わった。また 5500 年前～4000 年前には翡翠で作られた「硬玉製大珠」が流行した。加工には高度な技術が必要であった。その分布は全国に及んでいる。茅野市の遺跡からも多くの翡翠が出土している。講座では、このような縄文装身具の様々な種類を紹介するとともに、その意義を考えたい。』 (藤田富士夫氏より)



茅野市の遺跡から出土した
ヒスイの耳飾り

日時 10 月 11 日 (土)
午後 1 時 30 分～午後 3 時
場所 尖石縄文考古館
ガイダンスルーム
定員 80 名
受講料 無料
その他 申し込み不要

お問い合わせ 茅野市尖石縄文考古館
〒391-0213
茅野市豊平 4 7 3 4 - 1 3 2
電話 0 2 6 6 - 7 6 - 2 2 7 0

●平成 19 年度 (2007 年度)

演題 尖石遺跡 尖石集落観はどう変わったか

講師: 第 2 回宮坂英弑記念尖石縄文文化賞受賞者 勅使河原彰さん、茅野市教育委員会 小林深志

開催日: 平成 19 年(2007 年)10 月 6 日(土曜日)



●平成 18 年度 (2006 年度)

演題: 縄文時代後期の社会変化

講師: 第 6 回宮坂英弑記念尖石縄文文化賞受賞者 谷口康浩さん

開催日: 平成 18 年(2006 年)10 月 7 日(土曜日)

尖石縄文考古館 縄文文化大学講座
2006.10.07

縄文時代後期の社会変化

谷口康浩

●平成 17 年度 (2005 年度)

演題: 縄文時代の葬送儀礼—縄文中期以降の土偶を伴う葬送儀礼—

講師: 土肥孝さん(文化庁文化財部美術学芸課主任文化財調査官)【当時】

開催日: 平成 17 年(2005 年)10 月 8 日(土曜日)

●平成 16 年度 (2004 年度)

演題: 縄文王国の舞台 八ヶ岳山麓の縄文文化研究の現状と課題

講師: 第 2 回宮坂英弑記念尖石縄文文化賞受賞者 勅使河原彰さん

開催日: 平成 16 年(2004 年)10 月 9 日(土曜日)

●平成 15 年度 (2003 年度)

(1)

演題:ヒスイの魅力

講師:武藤雄六さん(前井戸尻考古館長)

(2)

演題:縄文時代の「交易」－黒曜石の採掘と流通－

講師:宮坂清さん(下諏訪町教育委員会)

開催日:平成 16 年(2004 年)10 月 11 日(土曜日)

●平成 14 年度 (2002 年度)

座談会:尖石昔語り

パネリスト:戸沢充則さん(尖石縄文考古館名誉館長【当時】)、宮坂昭久さん、林賢さん
小平恭さん(前尖石考古館長)、伊藤節夫さん

進行:鵜飼幸雄(尖石縄文考古館長【当時】)

開催日:平成 16 年(2004 年)10 月 11 日(土曜日)